



R.I. 認証 S28.6.22 例会 毎週金曜日12:30~13:30 例会会場 ツシマウール会館 会長 伊藤哲朗 幹事 吉田康裕 <http://www.tsushima-rc.org>
事務局 〒496-0044 津島市立込町3-26-2 ツシマウール会館内 TEL(0567)26-1600 FAX(0567)26-1661 e-mail:info@tsushima-rc.org

本日の行事予定 (2019年4月12日)

第3191回

卓話担当：寺田晏章君
講師：公認会計士 松下高士氏
演題：「青年海外協力隊、ジャイカ
海外協力隊に参加して」

先回の記録

第3190回 '19年4月5日(金) 晴れ

卓話担当：坂井裕君
演題：「人間の行動と自動制御」

ロータリーソング 「四つのテスト」
ソングリーダー 山本達彦君
会員総数 62名 3月8日例会分訂正
出席免除会員 19名 欠席会員 19名
本日出席会員 47名 MAKEUP会員 10名
本日の出席率 75.81% 訂正出席率 94.64%
超過出席 鈴木吉男君、寺島淳一君(台北滬尾RCホテルへのお迎え)、服部貴君、堀田正裕君、鈴木吉男君、田中正明君、寺島淳一君(台北滬尾RC津島神社案内)、浅井彦治君(第5回地区補助金委員会)、山田勝弘君、幅辰雄君、飯村理君、猪飼充利君、伊藤幸蔵君、伊藤誠君、加藤則之君、小林啓子君、田中正明君、滝川林一君、鈴木吉男君、篠田廣君、柴田伸彦君、三谷栄一君、山本達彦君、山田公男君(第1回次年度役員・理事・委員長会議)、吉田康裕君(名古屋芸術大学ローターアクトクラブ設立並びに加盟認証伝達式)

会長挨拶

伊藤哲朗会長

今週は、朝晩は真冬並みに冷えまして。寒さと花粉で、鼻がグスグスする日が多かったのではないのでしょうか。桜の開花も遅れてまいりまして、現在ほぼ満開、というところでしょうか。桜が遅れますと、藤も遅れるということで、今年の藤まつりに、ピッタリではないかと思ひます。



さて、5月1日からの新元号が決まりまして、みなさんにはとりわけいろいろなお意見やご感想がおりかと思ひます。素直に受けられる方から、どうしても一言言いたい、という方までおみえになります。私もどちらかという一言言いたいタイプですが、まあ決まったことにどうしようもないことなので、そのうち慣れるのではと思ひます。「令和」の令という漢字ですが、恐らく、下の部分をカタカナの「マ」と書く方を選択するのでは、と思ひています。このほうが、少し優しく感じるような気がするからであります。まあ、そんなことは、どうでもいいかもしれませぬ。

私のお店をやっていますので、こんな時、何をしたらいいかなと思ひていますが、ケーキ屋さんやTシャツ屋さんは、早速元号を使った商品売り出してみえまして、商魂逞しいわけであります。私も、「令和」と書いたふとんを販売しようかと考えましたが、何せ「令」という文字は左側に部首のにすい「ㇿ」をつけると、冷たくなるので、あまり適さないなあと思ひて、やめました。暑い夏には接触冷感の商品がよく売れるようになりましたが、元来、人間の身体は冷やすことはあまりよくないのでありまして、深部体温といわれるものは36℃以下になると、いいことがおきませぬ。そんな中、冷やす寝具を販売していますので、あえて接触冷感だけですよ、と言ひています。

元号が話題になって、あまり話題にならなかつたのが春のセンバツ高校野球で、愛知の代表、東邦高校が優勝しました。決勝戦は、エースで4本のホームランで一方向的な快勝になりました。興味深かつたのは明石商業との準決勝で、車を運転しながら聞いていただけなので、もうひとつ詳しいことはわかりませぬでしたが、この試合、7回裏に東邦がホームランで3点取り、8回表、明石がやはりホームランで2点取り返し、流れは明石にありまして。その8回裏、明石はノーヒットで東邦に1点献上し、これが東邦が勝ちを得る原因になりました。実力伯仲、ピッチャーはむしろ明石のピッチャーの方がすぐれていたのでは、と

感じていました。しかし、ほんのちょっとしたミスが、優劣を決める結果になったと思います。我々の仕事も案外、ほんのちょっとしたミスがあるかないか、の差ではないかと思うのです。

さて、店を回っていますと、桜が咲き始めています。朝晩の冷え込みが桜を長持ちさせてくれているようです。桜、藤、つつじ、あじさい、と花が順次我々を楽しませてくれますが、私も花の流れに沿ってあと3ヶ月の任期を、しっかり果たしたいと思います。

プレゼンテーションに 幹事報告



吉田康裕幹事

◇ 本日の例会終了後、理事会を開催します。役員、理事、委員長の皆様はご出席をお願いします。

◇ 2019年4月から2年間、津島RCでは、中国貴州省出身で名古屋大学博士課程の何月琦（か・げつき）さんの世話クラブを務めることとなり、カウンセラーには三谷栄一次年度米山奨学委員長が務めることとなりました。後ほど、委嘱状の贈呈式を執り行いたいと思います。

◇ 4月11日（木）14時より、ホテルキャッスルプラザにて、2019年度米山奨学生オリエンテーションが開催され、三谷栄一次年度米山奨学委員長兼カウンセラーと、伊藤幸蔵会長エレクトが出席されます。

◇ 4月11日（木）18時30分より、「魚しま」にて第2回役員・理事・委員長会議が開催されます。関係の方はご出席をお願いします。

◇ 本日は、『ロータリーの友』4月号を配布し、『ガバナー月信』及び『The Rotarian』各4月号を回覧しています。これらは地区のホームページからも閲覧できますので一度ご覧になってください。

◇ 4月のロータリーレートは\$1=¥110です。

◇ 4月より新しく入社しました事務員をご紹介します。山田薫さんです。後ほどご挨拶をしていただきますので、よろしくお願いします。今後6月までは、庄司、佐藤、山田の3人体制で事務局を運営していくこととなりますので、よろしくお願いします。

ニコボックス報告 第3190回分

柴田伸彦ニコボックス委員長

伊藤哲朗会長、山田勝弘副会長、吉田康裕幹事

①坂井裕君、本日の卓話よろしくお願いします。

②今月から事務局に山田薫さんをお迎えしました。よろしくお願いします。

伊藤哲朗会長、山田勝弘副会長、相羽あつ子君、

浅井彦治君、猪飼充利君、伊藤雅昭君、稲川明俊君、梶浦興蔵君、神谷里明君、加藤隆朗君、佐藤敬治君、柴田伸彦君、高木輝和君、幅辰雄君、余郷達也君 新元号「令和」制定を祝して。



伊藤哲朗会長、浅井彦治君、

伊藤誠君、加東育郎君、小林啓子君、杵田勝彦君、寺島淳一君、野尻栄一君、堀田力男君、水野憲雄君、矢田潔君、山田公男君、余郷達也君 東邦高校春のセンバツ優勝おめでとう!! 30年ぶり平成最初と最後の優勝。

坂井裕君 本日は拙い話をさせていただきます。来週の月曜には、また一つ馬齢を重ねます。

浅井賢次君 ①四国八十八か所讃岐香川へお遍路に行き、いろいろの出会いがあり、楽しんできました。②坂井さん、卓話楽しみにしております。

堀田正裕君 今月結婚記念日を迎えます。

山本達彦君 本日、デニーズ津島店がプチリニューアルオープンします。柴田さんご近所なので来てくださいね!

古川弘一君 久しぶりに出席します。

稲垣宏高君 その他。

卓話

卓話担当：坂井裕君

演 題：「人間の行動と自動制御」



今回の題は「人間の行動と自動制御」と如何にも堅い話のようで、なぜこのような話になったかと言えば、最近よく耳にする話に「目的を持ちつつも達成できなかった話」が多くなってきたようで、ふ

と思いついたのが「自動制御」でした。あくまでも主語は人間の行動(言動)であります(卓話でお話ししましたので中略させていただきます)。

さて「自動制御」とは、大きく分けて作業手順等を行う「シーケンス制御」と、ある限定された目標に対し正確かつ速やかに動作実行させる前の装置、その他種々の定義がありますが、今日は、わかりやすく一番基本的な後者の制御系と人間の行動・言動の類似点と相違点について話を進めたいと思います。

まず、この制御系の各部の定義と役割を説明します。お手元の資料(ブロック図)の構成となっています(図の中の算数はあまり考えないでください)。この図にはなく、自動制御ではできない一番大切なものがあります。それは人間が行うこと

で、目標(目標値)であります。「何のために何を目標とし、目標値(X)を策定(決定)するか!」です。これが大切で人間も機械も同じで、これなしでは何もできません。この系は「目標値(X)」より制御が始まります。

次に目標値と制御された結果値(Y)とを比較する「制御判断」。次にそれを十分に増巾(A倍)し、次にくるアクチュエーターに対し適合した出力をする「制御装置」。次にその出力を物理的な種々な出力に変換する「アクチュエーター」(これは聞き慣れない言葉ですが、人間で言えば、手・足・体であり、この系で例えれば温室では暑ければ窓を開く、寒ければヒーターを入れる等の動作に変換する物を示します)。次いで物理的事象「結果(Y)」を電気信号とする「センサー(温度計等)」となります。これを目標と比較するファクター(フィードバック(B))として負帰還させる要素より成り立っています。この図の中にちょっとした算数が入っていますが、途中の式はあまり考えずに「 $Y = X \times$ 」だけを見ていただき、次にくる例の式を「ナルホド」と思ってください。

自動制御の例を挙げると、先ほどお話ししました温室等の簡単なものを始め、大きな物では私が手掛けた物で国家防災センターの地震シミュレーターがあります。これは六軸の制御系により $X \cdot Y \cdot Z$ 、回転と地震で発生する動きを再現し実物の家屋等を加震するもので、数千トンGの加速力を持っています。その制御は非常に複雑な計算により、六軸の動作として制御するハイブリッド動作です。しかし、これも基本的にはこの制御系により成り立っています。

また、極端な話として原子力のお話をしますと、このブロック図増巾器(A)(むしろエネルギー源)は、原子力発電に例えると、必要とするエネルギーの1兆倍にも達するものですが、フィードバックにより結果(出力)を1とすべくB項を1として安全な出力を取り出している状態を保っていることとなります。ここでこのB項を失い、 $B = 0$ となった時、 $Y =$ 無限大となって爆発が起こり、大事故となることは皆様が身近に知るところだと思います。

このように、この系で大切なことは目標の(X)とフィードバック(B)が大切で、中に入る(A)は大きい程、完成度の高い手法だと思います。元々この手法は人間が考え出したものであり、知らず知らずの内に我々の生活にも適用されているものです。しかし、昨今の多様化された社会では見失われつつあるような気がします。今や人間がこの手法から学ぶべきところもあるような気がします。私自身の反省を含めて、この制御系を人間に置き換えて考えてみたいと思います。

目標値は「希望・目標」であり、判断はこれで良いかと考える脳です。制御装置+アクチュエータ

ーは十分な行動・言動を行う力であり、ここには知力・体力も必要とします。その出力をセンシング(検出)するのが五感です。大切なことは、五感単なるセンサーであり、すべてその処理は脳が行っています。これをB項の脳で再処理して目標と比較することになります。

まず目標値の策定が一番大切であり、よく言う「シンク・グローバル、アクト・ローカリー」、これは、「人間は多岐にわたって大きな目標を持っているものである。がしかし、どれもこれもというわけにはいかない。実行可能な小さな目標を策定し、それを一つずつ実行していくことがベターだ」ということだと思います。

私の好きな詩にサミュエル・ウルマンの「青春」があります。目標を持ち、できることから力強く行動をし、程良いバランスのとれたフィードバックを持って生きることだと思います。非常に漠然とした話になりましたが、私では舌足らずなので、私が最近出合ったこの話に相応しい彼(実在する友人の仮称)の生き様を借りて話を進めたいと思います。

実は昨年10月、高校の同窓会を開いた時のことです。年番的に名古屋で開くことになり、一昨年で創立100周年を迎え、また皆が80歳になったこともあって、疎遠であった人も含めて25人の参加となりました。その中に50歳の同窓会以降一度も参加しなかった彼がいました。会った時「良い顔をしているな」と感じました。

彼と50歳の時に会った時、彼はローソンの常務でした。「今は……」と話の進む内に、彼は言葉にしませんでしたが、「彼がなぜ30年間ブランクにしたか」が私にはわかるような気がしました。50歳の同窓会は新宿の地下のジャズホールを貸し切って50人以上の出席でドンチャン騒ぎでした。彼にしてみれば馬鹿げていると思ったでしょう。私も楽しく振舞いながらも少しはそう思うところもありました。私は高校も校友会、育友会の温情で卒業することができたこともあり、義務感として同窓会にはほぼ出席し行事にも協力しましたが、回を重ねる毎に世間でいう有職者クラスから欠席が増え15人足らなくなったこともありました。

さて話を戻すと、彼はローソンを退き、その後向学心(私が初めて耳にする言葉です)のある退職者がよく陥る読書に耽溺していた時、「これではいけない」「何か社会のため」「これからは福祉だ」と感じ、大学を4校も梯子して経営学博士を修得したとのこと。その時70歳だったそうです。今はある薬品会社の社外理事と経営コンサルタントをしているとのこと。一方柔道を始めて六段まで昇りつめ、日本シニアチャンピオンになったとの話。金メダルを見せてくれました。今でも毎日のように講道館に通っているとのこと。そこは段の上下の差もなく驕りもなく非常に居心地が良い所だそ

うです。全員が賞賛しました。彼が老いていく自分と対峙しながら、自分に見合った目標を立て成し遂げていく姿は、正に今日の話に相応しいと思います。

その後も彼は手紙をくれ、その中で「広い世界で人口 7,597,175,534 人の中で貴方に巡り合えたことは奇跡です」と書かれていたのには、何のことも知る由もなく涙が出る程嬉しかったものです。私の学生時代は、生きることに精一杯で彼との接点も何の記憶も蘇ってきませんが、ただ私は人に接する時はいつも前向き過ぎる程前向きで、時にはよく喧嘩もしましたが「イジメル」ことはしませんでした。それが今、彼が私の悪いところではなく良いところだけを見ていてくれたことに感謝しました。

その後の便りにも、私との出合いを同窓会 100 年誌に「思い出」として掲載したとのこと。同窓会誌を添えてくれました。その中に「人は岐路に立った時、どう進むか」といえば第一に強い一つの目標に進む「夢追い組」、第二は大半を占めるさしあたって大学でも行くかの「さしあたって組」、第三に自分の夢を早く実現しようとする「早期実現組」に分かれるとあり(中略)、その例を個人名を入れて書かれていました。第一の例は法学部に進学し大学では学ぶところがなくて中退し独学で弁護士になった友人、第二は名も入れずに先生やサラリーマンになったこと。彼自身もこの分類に入れて私を第三分類とし、例として超有名人の 3 番に例えてくれていました。また涙するところでした。

私の生き方の一部が良き友に伝わり、その友が活き活きと生きている姿を見て、今その友から学ばされたことに感謝しました。彼の幸せを我が喜びとして彼の文面(生き様)を借りて話をさせていただきました。

話の始まりは無機質な自動制御理論でしたが、このように人間も目標を立て大きな力をもってそれに程良いフィードバックを掛けている彼に学び、私も及ばずながらも「衰えいくだろうフィードバック」を大切に、箍(たが)を締め直して、生きたいと願う今日この頃です。

その他



山田勝弘副会長

いろいろな勉強させて
いただくとお願
いします。



山田薫事務局員

委嘱状が
届きました



加藤泰一郎
米山奨学委員長



米山奨学生何月琦さんの
カウンセラー三谷栄一君と
世話クラブの伊藤哲朗会長

誕生日祝福(4月)

伊藤誠親睦活動副委員長

- 安江正博君 (3日)
- 滝川林一君 (3日)
- 坂井 裕君 (8日)
- 杵田勝彦君 (12日)
- 田中正明君 (27日)

夫 人

- 鈴木吉男夫人 (2日)
- 後藤 亨夫人 (3日)
- 高木輝和夫人 (10日)
- 幅 辰雄夫人 (5日)
- 岡本康義夫人 (18日)



結婚記念日祝福

- 水野憲雄君 (1日)
- 鈴木吉男君 (3日)
- 堀田正裕君 (6日)
- 浅井彦治君 (16日)
- 古川弘一君 (19日)
- 柴田伸彦君 (22日)
- 安江正博君 (29日)
- 住田正幸君 (2日)
- 松本浩義君 (5日)
- 田中正明君 (14日)
- 河西あつ子君 (17日)
- 伊藤雅昭君 (20日)
- 矢田 潔君 (26日)
- 寺田晏章君 (30日)



次回例会
第 3192 回 '19 年 4 月 26 日(金)
 卓話担当：田中正明君
 講 師：津島市社会教育課 矢入彩氏
 演 題：「身近にいる鳥たち」

お知らせ

■休会
4月19日(金) 定款 8-1

■2019-20 年度地区研修・協議会
 と き：4月14日(日)
 受付 11:30~12:50
 昼食 11:30~12:50
 会議 13:30~17:00
 ところ：ホテルナゴヤキャッスル